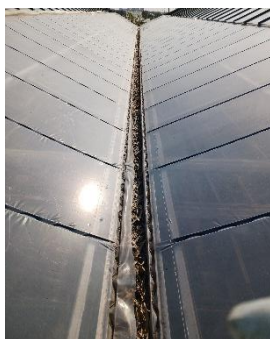


2024年の梅雨入りは平年より遅く、降水量は増加していました。今年の梅雨も平年並みの雨量が予想されています。今月の記事は、トヨタネ研究農場で行った雨対策についてご紹介いたします。

①ハウス樋のつまり解消

下記はトヨタネ研究農場第4ハウス群の谷樋の写真です。樋には枯れた笹や葉が詰まっており、水の通り道を遮断していました。この状態だと降雨時に樋がオーバーフローしてしまい、ハウスの中に雨が入ってしまいます。脚立等でハウスにのぼり、ゴミの除去を行いました。作業自体は数分程度で終わるため、今一度、ご自身のハウスを確認してみてください。特にハウス周辺に軒の高い防風林がある場合は樋が詰まりやすいため、ご注意ください。

※強風時やハウス軒が高い場合は十分に気を付けて作業を行ってください。



②露地栽培における排水路の確保

【2025年度作 耕種概要】

スイートコーン マルチ栽培（イエロー品種）
2作目 播種：4/17（直播） 4/19（移植）

収穫予定：7月中旬頃



【作業内容】

圃場勾配の下側に溝を作成。（平鍬を使用）
一定距離に塩ビパイプの設置、土や石で固定。

【目的】

圃場全体の排水性向上

圃場内に水が溜まってしまうと生育不良や収穫遅れ等の可能性があります。梅雨の時期では長期間の降雨が予想されますので、鍬や耕運機を用いて水路の確保をお勧めします。

温暖化による急激な気候変動により、作物に大きな影響を与えています。そんな気候変動に対して、研究農場では日々対策を行っています。圃場見学会等でお客様の参考になるよう努めてまいります。

随時見学会開催のお知らせをしますので、お気軽にお問い合わせください。